

|      |  |    |                     |              |
|------|--|----|---------------------|--------------|
| No.  | 12-2-1                                 | 場所 | 中川村四徳 中川東小・中学校 四徳分校 | 次世代への継承キーワード |
| 名称   | ①土石流に埋まった学校校舎（空撮）<br>②四徳分校に突き当たる四徳川の濁流 |    |                     | 早期避難 / 避難行動  |
| 災害現象 | 土石流                                    |    |                     | 河川 四徳川       |
| 補足事項 |  |    |                     | 支流           |

中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。

●体験談：災害当時、中川東小四徳分校南の教員住宅に居住  
(中川東小学校四徳分校3年)

<6月27日夜>十二時頃、**学校が危なくなってきたので、学校より一段上の、宮の前という家に行った。**(中略)二時頃、状況を見ていた父が、**そばの家が流れているので危いから山へ登るといことであつた。雨のじゃんじゃん降る中を、宮の前の上の山の頂上を見上げて登った。**何も見えなかった。それこそ地獄の底に落ちたようだった。朝の明けるのを待った。四時頃うっすらと明けてきた。雨もすでに小降りであった。ようやく下の方が見下ろせる位明るくなった。田畑という田畑はみんな流されて、家も数える位しかなかった。学校があつたので、住宅も大丈夫だろうと思つたが住宅は影も形も無くなつていた。学校は、木や砂、川木で埋まり窓もこわれていた。(中略)日本の地形が変りはしないかと思つた。」

(「四徳誌」p.323.324)

記 録



土石流によって埋まった中川東小・中学校四徳分校の校舎



四徳分校に突き当たる四徳川本流

出典 「続・濁流の子」p.5/「中川村の災害誌」p.6/「四徳誌」p.323.324

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

